

公民科（現代社会）学習指導案

指導者 山本 義裕

- 1 履修単位数 2単位
- 2 実施日時 令和2年 11月24日 第6限
- 3 学 級 102HR（38名）
- 4 教科書使用 現代社会（東京書籍）
- 5 単元名 政治参加にむけて～鳴門市の活性化案から考える～
- 6 単元設定の理由

本単元は現行の学習指導要領公民（平成21年告示）「現代社会」における、「大項目(2) 現代社会と人間としての在り方生き方」の「イ 現代の民主政治と政治参加の意義」として位置づけている。新学習指導要領公民（平成31年告示）においては、「公共」における、内容の大項目「B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち」の(2)主として政治に関わる事項アの(イ)「政治参加と公正な世論の形成，地方自治」に位置づけて実施する。

生徒の実態：社会の諸課題を考える際に使用する概念の理解が進み，幸福や正義，公正についても，多様な解釈や見方があることに漠然とではあるが気付くことが出来ている。その気付くと，これまでの学習で身につけた知識を活用しながら身近な地域の課題解決に向けて，社会的な見方・考え方を働かせながら，妥当性や効果，実現可能性から考え判断する意義を考えようとしている。

教材観：身近な地域の課題解決について，民主政治の仕組みを理解し，世論の形成，合意形成の在り方を考察することを通して，公共的な空間における，世代間の倫理や個人の尊厳と他者に対する公平・公正な配慮の重要性を理解させ，社会の多様な価値の尊重と個人の幸福の実現が図られる社会の形成を目指す主権者としての自覚を深めることができる内容となっている。

指導観：政治的主体としてよりよい社会の形成に参画することに向けて，幸福，正義，公正などに着目して，他者と協働して主題を追求したり解決したりする活動を行わせる。意見や利害の対立状況を調整し，合意を形成していくことの重要性を理解させ，地域に暮らす主権者の一人として実感をもって政策を判断・分析させたい。

7 単元の目標

よりよい社会を築いていく主体は個人であり，選挙をはじめとする様々な政治参加の方法を通して国民主権が実現される仕組みになっていること，憲法の下，表現の自由や知る権利が保障され，政治に関わる事柄について議論したり意見を発信したりするなかで，調整を行い，合意を形成していくことが民主政治の基盤となっていることを理解する。また，様々な集団や社会の多様性の尊重と，個人の幸福の実現が図られるよりよい社会の形成に向けて，幸福，正義，公正などを用いて多面的・多角的に考察・判断し，自らの考えを適切に表現することの重要性を認識する。

8 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
現代の民主政治に対する関心を高め、それを意欲的に追求し、民主社会における人間としての在り方について考察しようとしている。	民主政治における個人と国家の在り方や民主社会に生きる人間の在り方について幸福、正義、公正などを用いて多面的・多角的に考察し、社会の変化や多様な立場、考え方を踏まえ公正に判断してその過程や結果を適切に表現している。	現代の民主政治に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して効果的に活用している。	国民主権が民主主義の根幹であり、我が国においては基本的に国会を中心としつつ様々な政治参加の方法を通じて国民主権が実現されていることについて理解を深め、その知識を身に付けている。

9 指導計画

政治参加にむけて～鳴門市の活性化案から考える～・・・・・・・・・・ 4時間

単元を貫く問い：「鳴門市は住民の幸福を増大させることができるか」

第1時 選挙のしくみと課題・・・・・・・・【知識・理解】

問い：「多数決は民意を反映するか」

第2時 政党と利益集団・・・・・・・・【資料活用の技能】

問い：「住民自身は自己の利益をいかに実現すべきか」

第3時 政治参加にむけて（1）（本時）・・・・・・・・【資料活用の技能】

【思考・判断・表現】

問い：「鳴門市の活性化に繋がる政策はどのような政策か」

第4時 政治参加にむけて（2）・・・・・・・・【思考・判断・表現】

【関心・意欲・態度】

問い：「どのように投票先を決めるか」

10 本時の指導目標

社会の諸課題について、幸福、正義、公正などを用いて多面的・多角的に考察・判断する。資料等を参考にしながら自らの考えの妥当性等について再考察する活動を通して、政治参加にむけて候補者や政策を分析・判断し表現する力を養う。

11 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点	学習活動における 具体の評価規準	評価方法
導入 (5分)	前回の内容を振り返り、本時の学習内容について確認する。	クラスから出された鳴門市の課題を確認し、活性化に向けた政策の選択を行うことを伝える。		
問い：鳴門市の活性化に繋がる政策はどのような政策か。				
展開 (25分)	鳴門市の活性化に向けた3つの政策の優先順位とその理由を考える。	これまでに学習した見方・考え方を働かせ、様々な視点から考えさせる。		学習活動の観察

	<p>グループで意見を交換し、グループとして意見をまとめる。</p> <p>自分が優先したい政策を、妥当性、効果、実現可能性の観点から再び考え、もう一度選択する。</p>	<p>他のグループの意見と比較しながら、自分たちがどのような社会を目指そうとしているのかを理解させる。</p> <p>与えられた資料を活用しながら考察するよう指示する。</p>	<p>課題について、他者と協働して、多面的・多角的に考察・判断し、自らの考えをよりよい社会の形成に関わらせて表現できている。 (思考・判断・表現)</p>	<p>学習活動の観察 ワークシート</p> <p>学習活動の観察 ワークシート</p>
まとめ (10分)	責任ある選択・判断に向けて、本時の学びを振り返る。	地域の実情や将来を見据えながら、多様な視点から考えることができたか、自身の思考・判断を振り返りつつ、次回への見通しを持たせる。		ワークシートの提出